



みんなが笑顔でつながる・ぬくもりと輝きのまち調布

令和4年(2022年) No.1708 4/5



ちようふ

CONTENTS(主な内容)

- 予算と主要な施策……………2・3
- 4月1日からの市役所の組織改正……………4
- 環境のためにできること……………10
- 住民税非課税世帯等への臨時特別給付金は
期限までに手続きを……………12
- 新型コロナワクチン……………16

発行：調布市（毎月5日・20日発行）所在地：〒182-8511 東京都調布市小島町 2-35-1
 編集：行政経営部広報課 市ホームページ：https://www.city.chofu.tokyo.jp/ ☎042-481-7111

市報ちようふの配布に関する問い合わせは
市報ちようふ配布コールセンター
 ☎042-300-3131

クリーンセンター跡地にオープン!

市有地を活用した公民連携事業

民間施設

ブランチ

BRANCH調布内に

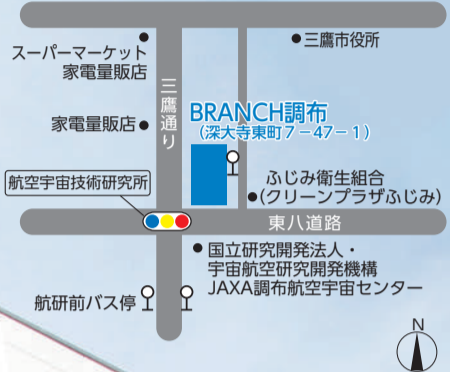
4/22金 OPEN

公共施設

ふじみ交流プラザ開設

5/16月 OPEN

市有地を活用した公民連携事業として、クリーンセンター移転後の跡地に、複合商業施設「BRANCH(ブランチ)調布」がオープンします。施設内には、高齢者の健康増進やコミュニティの機能を有した公共施設「ふじみ交流プラザ」も開設します。
 今回、オープン間近の施設の概要をお知らせします。



「BRANCH(ブランチ)」は日本語で「木の枝」を意味します。大きく広がる樹の枝をイメージし、地域コミュニティを育む拠点としての想いが込められています。

問 企画経営課 ☎481-7510

BRANCH調布の詳細は8・9面をご覧ください →

手をつなぐ樹 402

何としても平和体制の確立を

現在、世界には約200の国が存在するが、大国と称される国は果たして何カ国だろうか。少くともアメリカと中国が、経済及び軍事両面で大国であることは疑いなく、ロシアも経済はもとより、軍事力も大国だ。それらのか、大国が当然果たすべき責任は、本来いかなるものだろうか。市長になる前の仕事で、日本のODA(政府開発援助)を、日本のODA(政府開発援助)を、折衷的に最貧国を含む多くの発展途上国に赴いた。その際、途上国の背後に「大国の影」が折衷的に関係している。安全保障上の後ろ盾になると、その見返りとして経済関係の緊密度を高める構図だったが、正直に言えば、途上国の自立の発展にどこまで真に貢献するものか疑問に思ったこともある。

ウクライナ危機の終焉を切望する時、衆人環視にも拘らず不連続される蛮行を阻止できない条理に直面し、苛まれることもない無力感に苛まれることもない。どこでも、同様のことが同時に起り得ると、触発のことが世界を驚かす。改めれば、認識せざるを得ない。さすれば、小国は常に大國の放縦な思惑のままに蹂躪されるしかないのか。その大國の行為が非正義であるか、国際世論の大半が判断した場合は、どうやってそれを正す術を持ち得るのか。

言うまでもないが、すべての国が国際的枠組みの中で、永続的な平和体制の確立を目指す協力ができない。わが国も可能な限り力の方途を懸命に模索しなければならぬ。日本が他国から大別に見なされていくかどうかは大

調布市長 友貴樹